

平成25年度

第1回長岡市図書館協議会

日時：平成25年7月25日（木曜日）午後1時30分～3時

場所：中央図書館2階 講座室1

会議出席者 委員： 渡邊委員長 淵本副委員長 稲田委員 恩田委員 小林委員
佐藤（明）委員 藤澤委員 松本委員 湯本委員
（欠席：佐藤（銀）委員）

事務局： 佐藤教育部長 金垣館長 島田館長補佐 岩淵庶務係長
松矢奉仕係長 石井文書室長 指定管理者田原統括責任者 同高橋
業務統括チーフ 同渡辺業務統括チーフ

- 1 開会
- 2 教育部長あいさつ
- 3 新任委員あいさつ
- 4 委員長あいさつ
- 5 議事（議長 渡邊委員長）

（1）報告事項

- ① 平成24年度の実績報告及び平成25年度の重点事業について
- ② TRC自主事業「語り継ぐもの・中越地震データベース構築事業」について
- ③ 長岡市子ども読書活動推進計画について

（2）協議事項

図書館活動評価の見直しについて

（3）その他

平成25年度中央図書館の臨時開館について

- 6 閉会

7 会議録要旨

○互尊文庫の改修は、再開発の計画もあるが、現時点での見通しはどうか。

⇒中央図書館では互尊文庫の老朽化対策事業という形で考えている。具体的には新築、移転または耐震工事なのか、その方向性を決めるため、内部で検討を始める状況である。

○今の文書資料室自体は、その機能は一定程度あると思っているが、多少コンパクトでも良いから、できるだけ早いうちに、文書館が必要だと思っている。まずは、内部での検討ということだが、見通しはどうか。

⇒文書館の整備については、長岡市総合計画に掲載してあり、現在後期計画の途中であるが、今は白紙の状態である。建物よりも収蔵スペースとか人材育成とかいった機能としての文書館は、文書資料室としてすでにあるので、機能的な部分の強化を図っていきたいと考え

ている。

- 「平成 25 年度 図書館の概要」の 8 ページで、経常的経費の事業費が平成 24 年度決算額より、平成 25 年度の予算額が 1 千万円ほど増えている理由と、事業収入の処理について伺いたい。

⇒経常的経費とは、図書館の維持管理にかかる経費や、図書館がやっている様々な事業にかかる経費であり、臨時的経費とは、図書館施設の更新等の工事などにかかる経費である。経常的経費の事業費が 1 千万円程増加しているのは、主に平成 25 年度で新規に行う貴重資料持ち出し防止対策による、ICゲートの設置や、美術センターで行う自主企画展の事業費等の増加によるものである。次に、収入であるが、図書館が行う事業は、不特定多数の利用者へのサービスの提供という事業の性質から、その財源は、一般財源（税金）が充てられる。水道や下水道のように特定の利用者を対象とする事業は水道料金等を受益者から徴収して当該事業費に充てるものとしているが、本の貸出や図書館の利用については原則無料で行うものとされているため、事業収入という概念は、公立図書館事業の場合はない。ただ、美術センター等の貸館による経費の一部を利用者から徴収するものは多少あるが、それは、図書館の経費を賄うものとはなっていない。

- 貸出冊数と予約冊数では、目黒区の図書館が人口 20 万人から 30 万人市区の図書館で第 1 位で、長岡はそこと比べると少ないが、仮に、今までのデータを整理して、借りた冊数などの日本でのランキングを公表すると、長岡の貸出冊数等が増えていくのではないかと思う。また、長岡は施設的に充実しているものがあるので、そこをもっと工夫して活用をすれば、少ない投資でより大きな効果を発揮できるのではないかと思う。今それに向け、図書館の皆さんが汗を流していると言う印象を受けた。

- 「語り継ぐもの・中越地震データベース構築事業」は、TRC の自由提案であり、TRC が独自で工面しながら、頑張っただけのものであると理解している。それが一応完成したので、ここで一区切りをつけるということか。

⇒そのとおりである。

- このデータベースを公表してから、新たな情報提供のようなものがあるのか。

⇒この事業をやるに当たり、提供者を募集した。そのとき応募していただいた方とか、新潟日報の記者のOBの方から協力してもらい、被災地での取材時に、色々記事を書いていただいたが、それらも含まれている。その他、大きなものとしては、震災直後で、被災の状況、体験談を各団体が記録として本に残されていたが、それらの中からも、色々なキーワードを拾って、それらひとつずつが、リンクするように構築した。

- インターネット上で、データベースとして載っていて、コピーもできるようになっているのか。著作権の問題はどうか。

⇒コピーは可能である。著作権については、団体の代表者の許可だけでは不十分で、掲載されている全ての方の承諾が必要であることから、匿名やイニシャルの場合は、承諾が得られないので、そういうものは全て削除し、個々に承諾を得たもののみを掲載した。

- せっかく作ったものなので、単体での運用ではなく、「長岡震災アーカイブセンターきおくみらい」などと連携されると良いと思う。

- 具体的な資料を示していただいて、学校図書館の担当先生も活用しやすくなったと思う。

ブックランドサポーターについては、学校により環境の相違があるので、専門性の高い方か

ら図書の整理等の仕方などアドバイスをいただけることは、非常にありがたく思っている。ぜひ、今後も継続していただきたい。

○学校にもよるが、図書の内容が、40年前と変わらず、旧態依然とした状態のところがあると聞いて危惧している。このような学校図書の整備も教育委員会とか図書館で予算付けがされ、子ども読書活動の推進に結びつくことになるのかどうか。

⇒そのような状況は十分把握している。学校により、国が示した基準に達していないところもあるので、予算も相当増やし、今年度から4年計画でその基準をクリアし、より良い環境にするため、学校図書館の整備を進めていく予定である。

○資料にある「貸出レシート」の例でいうと評価のところでの前のしおり方式の方が良いとかの記載があり、具体的でわかり易くなっているが、その他に、予想参加人数に対する実施参加人数とか昨年度との比較データがあると評価がしやすくなると思う。

○以前の67項目を減らすと言うことではなくて、再編して当該年度の重点項目にまとめると言うことか。

⇒基本的には今年度の6つの重点項目の中に重点事業を掲載するが、その年度の状況により、違ってくる。従来の方法は、図書館の内部評価向けであり、協議会で評価していただくものとしては、あまり適した形ではなかったと考えている。全国的な傾向としてもわかりやすい重点項目を1つか2つ掲げ、そのための事業を示し、その結果を評価する形をとっているところが多い。その方法が一番わかりやすく、評価もしやすいということから、今回は項目を絞った形で、県立図書館の例も参考として示したものである。

○本来今日は、それなりにある程度完成した形で示されると議論しやすかったわけだが、見直しの考え方、フレームが示されただけであり、協議会としては考え方の方針には賛成できたとしても最終的にどうかの判断を下すことは、今の状況では難しいと考えているがどうか。

⇒本日は、完成形での案を示せなかった。後日、早々に案を作成し、委員の皆様からご意見を頂き、それを集約した中で、完成形を作成したいと考えている。

○5年ほどこの活動評価を行っているが、従来の方法は非常に分かりにくいと思っていた。このように改善されてわかり易くなれば、新任の委員が来られても意見が言える状況になるのも良いと思うが、項目を絞って行くことも大変かと思う。毎年変えて行くのか。

⇒見直し後のフレーム、スタイルは変えないが、改善はして行く。

○この重点項目は、抽象的な内容だと思う。具体的な細かな項目の評価が集約されて結果として、この項目の評価となるような形であれば良いと思う。

○重点項目ごとにやって行けば良いと思うが、67項目と言う非常に広範な事業を展開している訳で、そのワークに対してもチェックが必要である。ただ、やみくもに項目を削減するのではなく、不要なものは削除するという考え方で行く必要がある。分かりやすくする事が優先するとは思わない。業務が広範になる項目の決定には、十分留意して進めて行ってもらいたい。

○重点項目を評価することはわかり易くて良いと思うが、この度の再編の時にどの項目に重点を置いて、どの事業に視点を当てて評価まで持っていくのか検討が必要であり、大変かなかと感じた。また、評価につながる具体的根拠が見えるようにすると委員は評価がしやすくなると思うが、基本的にはこれで良いのではないかと思う。

- 今までの膨大な資料がこのように変わると言うことは分かりやすくなり良い事だと思う。業務が煩雑になるような評価はする必要があるのかと思っている。それよりも重点項目が、このように評価され、課題が何々であるのでこう改善すると言ったことがストレートに利用者に伝わる資料となるようにしていただけたらと思う。
- 見直しにより、図書館も委員も評価しやすい内容になるのであればよろしいと思う。それで何か疑義とか意見があれば、そこで言わせていただくという形で良いのではないか。重要なことは、目標が達成できたかどうかである。
- この度の見直しについては、内容によってそのフレームが変わることがあるので、もっとクリアにした方がよかったが、これに基づく大筋の方向性としては、委員の皆さんは了承ということである。とりあえずたたき台の案を事務局から早急に作っていただき、各委員にご意見を頂くとする形で行いたい。
- 正月の2日は利用者の数字を見ても少ないことでもあり、無理に開館しなくてもよいと思うので賛成である。ゆっくり休んでいただきたい。
- 今は、月末は全館が閉館となっているが、月末に地域館のうち、1つでも2つでもよいから開館してもらいたい。全て閉館だと返すだけとなる。正月2日、3日の開館は不要と思うので2日閉館には賛成する。
- 随分前の話になるが、8月31日に子供の宿題で図書館を利用しようとしたが閉館していて困ったことがあった。
- ⇒今年度は、開館する。
- 委員の意見と言うよりも本をゆっくり休ませると言う理由で、利用者からご理解いただければ良いのではないか。
- やはり、図書館の中の設備等もメンテナンスが必ず必要かと思う。委員は反対の意見はないので、協議会としては事務局の提案はよろしいであろうということでも了承していただきたい。
- ⇒1月2日は休ませていただくが、3日から開館ということでもよろしくお願ひしたい。
- 本年度から貸出レシートを中央館で始めたが、前に借りた方のレシートが残っていることがある。前のしおりの形のほうが良かった様に思う。
- 私は貸出レシートで重宝している。返した本については、消していくことにしている。他にもやっている図書館はあるか。
- ⇒新潟市や見附市の図書館でやっている。
- 貸出レシートもしおりみたいになっていて、本の題名が出ればよいと思うが。
- ⇒佐渡市の図書館では、ポイントカードのようなもので、題名が印字されるが、前の印字に上書きされるようになっているので、前の印字が薄く残っていると見づらくなるという話を聞いている。レシートの紙質については、紙やシステムに係る経費節減や、貸出カードと一緒に財布等にしまってもらうことを前提として作成したものであるので、今のコンパクトな様式とした。なお、前のしおりが欲しいと言う方にはお渡ししている。
- 学生は、住民票を長岡市に移していない場合、図書館の本は借りることができないと思うが。
- ⇒学生で長岡市に住民票を移していない場合でも、学生証や届いた郵便物で住所地が確認できれば貸出カードの交付が受けられ、借りることができるようになっている。